

一般質問 議:議員/理:理事者

- 新中学校開校後の現中学校の跡地について
- スクールバスについて

その他の質問
・市民の声について



森 かよ子議員



議 文部科学省が行った廃校施設等活用状況実態調査では、活用の用途が決まっていない施設は19%ある。用途が決まらなければ空き家となり、一度空き家となれば使い手を探すことが困難となり、維持管理費がかかるだけとなる。跡地が負の財産にならないための具体的な利活用を早急に決めなければならないと考えるが、市の見解を伺う。

理 中学校再編後の跡地利用等については検討を始めており、令和6年5月には新中学校開校後の現中学校の跡地の利活用を検討するための庁内組織、勝山市中学校跡地利用庁内検討委員会を設置し、様々な課題整理を行っている。

中学校開校の令和9年4月には全ての中学校の跡地、建物の活用が決まり、それが全てアクティブに活用できれば良いが、人口が減少していく中で、公共施設そのものの必要性も見極めながら利活用すべきはする、利活用できないものについてはそういった決断をするというようなことも考えていく必要があると思っている。

議 スクールバスは、中学校が1校になることによって必要不可欠である。降雪時の運行、体育祭等の土日の行事、土日の部活動時等、検討すべきことは数多くあるが、2024年問題で運転手の確保が課題となっている今、継続的に必要なスクールバスの運行計画はどうなっているのか、市民に安心していただける見解を伺う。

理 昨年度の再編準備委員会において、利便性や効率性等を踏まえ、路線バスをスクールバスとして活用することとした。1.5km以遠の生徒の利用で市内各地区からそれぞれ朝1便、夕方2便の運行を想定し、運行ルート等の検討を進めている。

バス事業者からは、開校時には路線バスを活用した10路線のスクールバスの運行は可能と聞いているが、継続的に生徒数や居住地域を考慮しながら、路線の本数やルートを検討し、事業者と協力して運転手の確保に努める。

また降雪時の運行等の対策についても、関係者と協議し、運行体制等の確立に向けて調整していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 省エネ家電の買い替えに補助金制度を
- バス・タクシー運転士確保に対する補助について

その他の質問

- ・勝山駅前の整備について
- ・人口減少と女性活躍について
- ・定住促進・市営住宅の今後の課題について
- ・新中学校開校による3中学校の物品管理と廃校後について



市政会 下道恵子議員



議 市制70周年記念イベント事業に、家庭で使用している製造年月日が一番古いエアコンを届け出た方に、最新家庭用エアコンを1台プレゼントする企画があった。温室効果ガスの排出削減のほか、電気代を抑え家計の負担軽減を図る目的として省エネ家電の買い替えに補助金を出すことを今後も企画しないか伺う。

理 4月26日から実施している「市内の現役最古のエアコンを探そう!」では市民の皆様の省エネへの意識啓発を目的としている。この事業を通じて、省エネ性能の高いエアコンへの買い替えにより、電気代や二酸化炭素排出量がどれだけ削減されるかを知るきっかけになればと考えている。

省エネ家電への買い替え支援については昨年度より県が実施しており、エアコン、冷蔵庫に加え、今年度はエコキュートも対象としている。

省エネ効果の高い家電の普及は、家庭部門の二酸化炭素排出量の削減に効果的と言える。今後、省エネ家電割について利用促進を図るとともに、利用実績を注視していく。

議 運転士不足による県内のバス廃止路線が増加している。大野勝山広域バスは地元バスにより存続された。タクシー業界も同じ状況だ。越前市がバスやタクシー運転士を確保するために運転免許取得費用等への助成金を発表した。男性・女性関係なく幅広く募集している。勝山市も同じような施策ができないか。

理 バス、タクシーの運転士は、他の産業と比べ労働時間が長いことや給料が安いこと等を理由に全国的に減少している。そこに2024年4月より働き方改革関連法が適用され、運転士不足が加速している状況である。市内においては、4月より広域路線勝山大野線が運転士不足を理由に減便となったが、市内交通事業者には、当面の路線バスの運行並びに令和9年度から運行開始予定のスクールバスやフルデマンドバスの運行には支障がないことを確認している。長期的には、運転士の高齢化等により予断を許さない状況であるため、今後も引き続き交通事業者と意見交換を行い、補助制度を含めた人材確保対策を検討していく。